２０１７年度

# 九州大学大学院統合新領域学府博士後期課程
# オートモーティブサイエンス専攻（社会人特別選抜）
# ２次募集

# 学 生 募 集 要 項

## ２０１７年４月入学者選抜

■　出願書類は本募集要項の後部に関係様式を用意していますので,印刷して御使用ください。なお，様式によっては**両面印刷**を必要とするものもあります。

■　出願資格審査を必要とする者（本募集要項の「６．出願資格の事前審査」の項参照）は，本募集要項の後部にある「出願資格認定申請書」の様式を印刷し，必要事項を漏れなく記入の上，2016年9月9日（金）12時までに他の必要書類とともに提出してください。

■　専攻の内容等に関しては，下記ホームページを参照してください。

http://www.ifs.kyushu-u.ac.jp/ams/

## 統合新領域学府

### ○概要

20 世紀の科学的な知的探求は，高度化し専門分化しながら，新たな知を生み出しつつ，学問を大きく発展させ，モノの豊かさを実現してきました。しかし，その反面で科学的な知が専門分化し細分化されるにつれて，専門領域を超えた知の交換や相互理解が困難になりつつあります。これは知のエントロピーの増大とでもいうべき知の探求への負のエネルギーの発生です。

他方で現代社会は，これまでの科学では解き難い複合的で多元的な課題を次々に生み出しています。いま問われているのは，知の専門分化を受け入れながらも，知のエントロピーの増大を抑えて，新たな科学的な知を生み出す知識創造の仕組みを構築することです。

九州大学では新たな科学のフロンティアを開拓し，また科学的な知を再編成し統合するための知的探求と教育の仕組みとして「統合新領域学府」を開設しました。統合新領域学府では統合をキーワードに先端科学分野における科学的な知が，専門的な知の動員とその交流と創造を通じて探求されます。そのことによって従来の学問の縦割りでは捉えることが難しい，複合的かつ根源的な新しい課題に取り組み，その知的成果を社会に還元するとともに，そのような知の担い手として活躍する高度な専門人材の養成を目指します。

### ○ 独創的な３専攻

2009 年 4 月に「ユーザー感性学専攻（修士)」と「オートモーティブサイエンス専攻（修士・博士)」の２つの専攻を開設し，2011 年 4 月に「ユーザー感性学専攻（博士)」と「ライブラリーサイエンス専攻（修士)」が，2013 年 4 月に「ライブラリーサイエンス専攻（博士)」が開設されました。その授与学位は下表にしめすようになります。

いずれもわが国初の大学院専攻であり，現代社会や現代の科学に問われている実在的な課題から出発するところに特徴があります。それぞれの専攻は国際的な学術拠点として知のフロンティアを切り拓き，研究活動を先導するとともに，産業界の高度な人材養成への熱望に応える大学院専攻です。

| 専 攻 名 | 学　位 | |
|---|---|---|
| ユーザー感性学専攻 | 修士 | 修士（感性学）：　Master of Kansei Science<br>修士（芸術工学）：　Master of Design<br>修士（工学）：　Master of Engineering |
| | 博士 | 博士（感性学）：　Doctor of Kansei Science<br>博士（芸術工学）：　Doctor of Design<br>博士（学術）：　Doctor of Philosophy in Kansei Science |
| オートモーティブ<br>サイエンス専攻 | 修士 | 修士（学術）：Master of Philosophy in Automotive Science<br>修士（オートモーティブ・サイエンス）：Master of Automotive Science<br>修士（工学）：Master of Engineering |
| | 博士 | 博士（学術）：Doctor of Philosophy in Automotive Science<br>博士（オートモーティブ・サイエンス）：Doctor of Automotive Science<br>博士（工学）：Doctor of Engineering |
| ライブラリー<br>サイエンス専攻 | 修士 | 修士（ライブラリーサイエンス）：Master of Library Science |
| | 博士 | 博士（ライブラリーサイエンス）：Doctor of Library Science |

## ○統合新領域学府の教育上の特徴
## オートモーティブサイエンス専攻

「オートモーティブサイエンス専攻」は，オートモーティブという視点から自動車と先端技術，自動車と人間や社会，自動車と環境・エネルギーなどの先端的で複合的な課題を統合的な知の仕組みに基づいて解明し，新しいオートモーティブ社会を創造する高度な専門人材を養成することを目指します，これほど総合的で体系化されたオートモーティブ大学院は世界に例を見ないものであり，自動車大国のわが国に待望久しかった初の本格的な自動車大学院です。

本専攻には，工学から人文社会科学にまたがる科学的な知が統合され，オートモーティブをサイエンスしつつ，進展の著しい自動車産業・社会に柔軟に対応できる確かな専門性を備えた高度な指導的技術者・研究者を養成します。出口をオートモーティブに特化して，産官学からなる教授陣による弾力的な専門能力を育成する主専攻・副専攻制度，長期のインターンシップ，英語による国際コミュニケーション演習などが展開されます。

教育研究の専門分野として，先端材料科学，ダイナミクス，情報制御学，人間科学，社会科学の次の５分野が設けられています。

**（1）先端材料科学分野**

次世代自動車に求められる各種先端材料（鋼材，高分子材，セラミック，半導体等）の究明とともに，燃料電池，Li イオン 2 次電池やパワーデバイスの開発を目指します。

**（2）ダイナミクス分野**

次世代エンジンの動力学特性の解明と開発，空力特性及び動力学特性に優れた信頼性の高い車体の構造の究明を目指します。

**（3）情報制御学分野**

車載制御システムの教育研究，組込みハードウエアやソフトウエアの開発，ＩＴＳなど先端的な自動車情報計測制御の教育研究を目指します。

**（4）人間科学分野**

快適，安全な次世代自動車デザインの開発，車とヒトの交通心理学や安全文化論の探求，さらに交通流及び交通情報の工学的解明を目指します。

**（5）社会科学分野**

産業の政策や法規，交通やエコロジーの経済などのマクロな課題と，戦略経営，イノベーションや生産のマネジメントなどの技術経営の解明を目指します。

修士課程，博士後期課程でどのように学ぶかに依存しますが，本専攻の修了生はオートモーティブを中心に幅広い分野で活躍することが期待されます。具体的には，自動車産業の研究開発部門の研究者，生産技術分野のエンジニア，技術経営分野のマネジャー，大学や各種研究機関の研究者などです。

## ○アドミッションポリシー

次のような資質と問題意識を持つ人材を対象として専攻毎に入学者選抜を行います。

（1）専攻の専門に係わる諸問題を学際的に解決し社会に成果を還元したいという意欲を有していること
（2）社会において先導的役割を果たしたいという意欲を有していること
（3）柔軟な発想力，基本的なコミュニケーション能力，幅広い教養を有していること
（4）社会人にあっては，企業や地域社会での経験，問題意識を大学において理論的に進化・体系化させたいという意欲を有していること

本学府では，技術革新の進展や産業構造の変化等を背景として，社会人の再教育など大学院に対する社会の要望にこたえて，官公庁，民間企業等に従事した経験のある者を対象に特別選抜を行う。

## 1. 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者で，入学時において実社会での経験を原則として３年以上有する者

(1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び 2017 年 3 月 31 日までに有する見込みの者

(2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2017 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

(3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2017 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

(4) 我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2017 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

(5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和 51 年法律第 72 号）第 1 条第 2 項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し，修士の学位に相当する学位を授与された者及び 2017 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

(6) 外国の学校、学校教育法施行規則第 156 条第 3 号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者、又は 2017 年 3 月 31 日までに認められる見込みの者。

(7) 文部科学大臣の指定した者

(8) 本学府において，個別の入学資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，2017 年 3 月 31 日までに 24 歳に達するもの

※ 上記(8)により出願する者は，事前に出願資格の審査を受けなければならない。

## ２．募 集 人 員

| 専 攻 名 | 専 攻 分 野 | 募集人員 |
|---|---|---|
| オートモーティブサイエンス専攻 | ・ 先端材料科学分野<br>・ ダイナミクス分野<br>・ 情報制御学分野<br>・ 人間科学分野<br>・ 社会科学分野 | 若干名 |

## ３．出 願 書 類

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 入学願書・履歴書 | 本学府所定の用紙に，所要事項をもれなく記入すること。 |
| 2 | 照合票・受験票 | 本学府所定の用紙に，所要事項を記入の上，写真を貼ること。 |
| 3 | 修士学位論文（写）　２部 | 修士課程修了見込の者及び出願資格(6)により出願する者は，研究経過報告書２部（Ａ４判２枚，2,000字程度）を提出すること。出願資格(8)により出願する者は提出を必要としない。 |
| 4 | 修了（見込）証明書 | 最終出身大学等が発行したもの。 |
| 5 | 成績証明書 | 最終出身大学等が発行したもの。 |
| 6 | 修士の学位（見込）証明書 | 大学評価・学位授与機構から修士の学位を授与された者（見込）のみ提出すること |
| 7 | 研究計画書 | 本学府所定の用紙に，所要事項を記入すること。 |
| 8 | 受験票返送用封筒 | 市販の封筒（大きさ：長形3号，120㎜×235㎜）に氏名・あて先及び郵便番号を明記し，郵便切手（92円）を貼ること。 |
| 9 | 住所票 | 本要項後部にある用紙に志願者の住所（入学願書票の記載と同じ）・氏名を記入すること。 |
| 10 | 「入学検定料・選考料　取扱明細書」又はプリントアウトした「受付完了画面」 | ・本要項に綴り込みの「『入学検定料・選考料　取扱明細書』貼付用台紙」に貼付し，出願書類と共に提出すること（コンビニエンスストア支払いの者）。<br>・プリントアウトした「受付完了画面」を出願書類と共に提出すること（クレジットカード支払いの者）。 |
| 11 | 出願資格認定申請書 | 出願資格(8)により出願する者のみ提出すること。<br>本学府所定の用紙に記入すること。 |
| 12 | 研究業績概要調書 | 出願資格　(8)により出願する者のみ提出すること。本学府所定の用紙に記入すること。 |

## ４．入学検定料について

入学検定料　30,000円　（ 本学大学院修士課程から引き続き進学する者は不要 ）

入学検定料は次の方法で納付すること。

（支払い方法）

e-支払いサイト（https://e-shiharai.net）へ事前申し込みの上，①コンビニエンスストア，または②クレジットカード・中国決済により支払うこと（海外からの支払いの場合は，②のみ）。支払い方法の詳細は，本要項に綴り込みの「九州大学コンビニエンスストア・クレジットカード・中国決済での入学検定料払込方法」を参照すること。なお，払込手数料は，志願者が負担することとなる。

【支払い期間】2016年9月7日（水）～2016年9月21日（水）

出願期限内に支払いの証明が提出できるように支払うこと。

①コンビニエンスストア支払い

コンビニエンスストアで受領した「入学検定料・選考料　取扱明細書」を本要項に綴り込みの「『入学検定料・選考料　取扱明細書』貼付用台紙」に貼付し，出願書類とともに提出すること。

②クレジットカード・中国決済支払い

プリントアウトした「受付完了画面」を出願書類と共に提出すること。

（お願い）

e-支払いサイトにおける手順等のご質問については，同サイト上の「FAQ」または「よくある質問」（https://e-shiharai.net/Syuno/FAQ.html）を参照した上で，イーサービスサポートセンターへ問い合わせてください。

## ５．願書受付期間について

2016年9月14日（水）から9月21日（水）17時まで

（郵送の場合も同日の同時刻までに必着のこと）

## ６．出願資格の事前審査

出願資格(8) により出願する者は，事前に資格審査を行うので，出願書類の1，2，4～9 及び11，12 を2016年9月5日（月）から9月9日（金）12時までに，九州大学工学部等教務課統合新領域係に提出すること。

なお，結果については，2016年9月14日（水）までに専攻長から申請者あて通知する。

また，資格審査に合格した者の入学願書等は，「入学検定料・選考料　取扱明細書」又はプリントアウトした「受付完了画面」の受領後，自動的に受理する。

## ７．出 願 手 続

⑴ 出願者は，前記の出願書類を願書受付期間に，工学部等教務課統合新領域係に提出又は郵送すること。

（あて先）

九州大学工学部等教務課統合新領域係（伊都キャンパス）

〒819－0395　福岡市西区元岡744番地 TEL（092）802－3859

⑵ 郵送による場合は，必ず書留郵便とし，封筒表面に「大学院統合新領域学府博士後期課程（社会人特別選抜）入学願書」と朱書すること。

## ８．選 抜 方 法

⑴ 第１次審査

出願書類による審査：学習能力，学習意欲，将来性，語学力等を総合的に評価し，選抜する。

※ 合否結果については，2016年10月14日（金）頃に志願者あて発送する。

⑵ 第２次審査 （第１次審査合格者のみ）

口頭試問による審査：資質，将来性，意欲，語学力等を総合的に評価し，選抜する。

## ９．第２次審査日時及び試験場

| 月　日 | 時　間 | 試験 | 試　験　場 |
|---|---|---|---|
| 2016年10月22日(土) | 9:00～18:00 | 口頭試問 | 九州大学<br>**伊都キャンパス** |

※ 第２次審査対象者には，第１次審査合格通知の際に，詳細を文書にて知らせる。

## 10. 合 格 者 発 表

2016年11月9日（水）13時頃に，伊都地区統合新領域学府掲示板（総合学習プラザ2階）・統合新領域学府オートモーティブサイエンス専攻ホームページ（http://www.ifs.kyushu-u.ac.jp/ams）のトピックスで発表するとともに合格者に文書で通知する。

なお，合格者発表に関する電話等による問い合わせには一切応じない。

## 11. 入 学 時 期

2017 年 4 月 1 日

## 12. 入学手続の際に納付する経費等

入学料 282,000円（予定）

ただし，本学大学院修士課程から引き続き進学する者は不徴収とする。

授業料 267,900円（半期）（予定）

535,800円（年間）（予定）

（注） 上記の納付金額（入学料・授業料）は予定額であり，入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には，改定時から新たな納付金額が適用される。

## 13. 障害等のある入学志願者について

本学では、障害等のある者に対して，受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があり、そのための相談を常時受け付けています。

受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、出願前できるだけ早い時期に下記問い合わせ先まで相談してください。

## 14. 入学検定料の免除について

（１）免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるものは、次に該当する者です。

**ア　東日本大震災により被災した志願者**

（ア）東日本大震災における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、次のいずれかに該当する者

ａ　主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合

ｂ　主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合

（イ）居住地が福島第一原子力発電所事故により、避難指示区域（計画的避難区域を含む）に指定された者

**イ　熊本地震により被災した志願者**

熊本地震における災害救助法適用地域で被災した志願者で、次のいずれかに該当する者

（ア）主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合

（イ）主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合

【災害救助法適用地域】（平成28 年4 月14 日現在）

熊本市、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、玉名市、山鹿市、菊池市、宇土市、
上天草市、宇城市、阿蘇市、天草市、合志市、下益城郡美里町、玉名郡玉東町・南関町・
長州町・和水町、菊池郡大津町・菊陽町、阿蘇郡南小国町・小国町・産山村・高森町・
西原村・南阿蘇村、上益城郡御船町・嘉島町・益城町・甲佐町・山都町、八代郡氷川町、
葦北郡芦北町・津奈木町、球磨郡錦町・多良木町・湯前町・水上村・相良村・五木村・
山江村・球磨村・あさぎり町、天草郡苓北町

※上記災害救助法適用地域以外で被災した志願者で、上記（ア）又は（イ）に該当する者については、学務部入試課(092-642-2265)へ相談ください。

（２）免除申請の手続

入学検定料の免除を受けようとする場合は、あらかじめ下記問い合わせ先へ連絡し、該当すると判断された者は、入学検定料免除申請書に、次のうちいずれかの証明書等を添えて出願書類とともに提出してください。

なお、申請が認められた場合は、出願時に「入学検定料」を払い込まないでください。

ア　（１）ア（ア）ａ及び（１）イ（ア） に該当する場合
　り災証明書

イ　（１）ア（ア）ｂ 及び（１）イ（イ）に該当する場合
　死亡又は行方不明を証明する書類

ウ　（１）ア（イ）に該当する場合
　被災証明書

※入学検定料免除申請書のダウンロードは、九州大学Webサイトの入試情報をご覧ください。

＜申請書様式＞

東日本大震災：http://www.kyushu-u.ac.jp/f/28254/shinsai-shinsei.pdf

熊本地震：http://www.kyushu-u.ac.jp/f/27778/kmenjo-appli.pdf

※申請時にり災証明書等が取れない場合は、住宅の被害状況写真、免許証等の住所が確認できるものにて一旦受付しますので、後日、り災証明書および住民票を必ず提出してください。

## 15. 注 意 事 項

(1) 願書受理後は，記載事項の変更を認めない。また，検定料の払戻しは行わない。

(2) 受験票未着の場合は，試験前日までに工学部等教務課統合新領域係に申し出ること。

(3) 出願書類は，原則として返却しない。

(4) 自然災害等による入試日程への影響が懸念される場合には,本学府インターネットweb サイトのトップページから実施についての告知をするので確認をすること。

URL http://www.ifs.kyushu-u.ac.jp/

（インターネットにアクセスできない場合は，（092）802-3859あて電話で照会すること。）

## 16. 博士後期課程奨学金について

博士後期課程に在学する学生のうち特に優秀な学生に対し，一人当たり年額５０万円の奨学金（給与）が全学で３００名程度の学生に支給されます。

この奨学金に採用された学生は，原則標準修業年限で学位を取得することが条件となっています。

なお，詳細については，工学部等教務課統合新領域係（統合新領域学府担当）までお問い合わせください。

## 17. 問い合わせ先

〒819－0395　福岡市西区元岡744番地
九州大学工学部等教務課統合新領域係
電話（092）802－3859

2016 年 8 月

**九州大学大学院統合新領域学府**

URL　http://www.ifs.kyushu-u.ac.jp/

出願書類における個人情報の保護について

(1) 出願書類に記載の個人情報は，入学者選抜で利用するほか，次のとおり利用します。

① 合格者の住所・氏名等を入学手続業務で利用します。

② 入学者選抜で利用した成績等の個人情報は，個人が特定できないかたちで本学府における入学者選抜に関する調査研究で利用します。

(2) 出願書類に記載の個人情報は，「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き，出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

次のページの「履歴書」と両面印刷してください。

（オートモーティブサイエンス専攻　社会人特別選抜）

九州大学大学院統合新領域学府

# 博士後期課程入学願書

（ 社会人特別選抜 ）

西暦　　年　　月　　日

氏　　名

西暦　　年　　月　　日生

**大学院統合新領域学府博士後期課程に入学したいので，関係書類を添えて出願します。**

| | | | |
|---|---|---|---|
| ふりがな<br>氏　　名 | 男<br>・<br>女 | **※1**<br>**受験番号** | |
| 現　住　所<br>（連絡先） | （〒　　－　　）<br>携帯電話（　　）－（　　）－（　　）<br>電話番号（　　）－（　　）－（　　）<br>E-mail | | |
| **※2**<br>本　　籍<br>(都道府県名のみ) | | | |
| 最　終　学　歴 | 大学大学院　　学府・研究科<br>課　　程　　専　攻<br>西暦　　年　　月　　修　了<br>修了見込 | | |
| 志　望　専　攻 | オートモーティブサイエンス　　専　　攻 | | |
| 志　望　分　野 | 分　　野 | | |
| 希望研究題目 | | | |
| 希望指導教員名 | | | |

○**※1 欄**は記入しないこと。

○**※2 欄**について，外国人留学生は国籍を記入すること。

○九州大学在学生は，学生番号を右カッコ内に記入すること。　〔　　〕

**外国人留学生については，右記の区分に○印をつけること。**

| 学生区分 | １．国費　２．政府派遣　３．私費 |
|---|---|

前のページの「入学願書」と両面印刷してください。

（オートモーティブサイエンス専攻　社会人特別選抜）

| 学　　歴（高等学校卒業より記入すること。） | |
|---|---|
| 西暦　　年　　月 | 高等学校卒業 |
| 年　　月 | |
| 年　　月 | |
| 年　　月 | |
| 年　　月 | |
| 年　　月 | |
| 年　　月 | |
| 年　　月 | |
| 職　　歴 | |
| 西暦　　年　　月 | |
| 年　　月 | |
| 年　　月 | |
| 年　　月 | |
| 年　　月 | |
| 年　　月 | |
| 年　　月 | |
| 年　　月 | |

(注)

〇学歴・職歴の欄には，出願時の身分がはっきりするように記入すること。

〇外国人留学生については，小学校入学からの学歴を記入すること。

次のページの「志望理由」と両面印刷してください。

（オートモーティブサイエンス専攻　社会人特別選抜）

# 研 究 計 画 書

| 氏　名 | |
|---|---|

研究計画書は，以下の 4 つの内容とし，黒色の万年筆またはボールペン（水性ペン可）を用いて自筆したものまたはプリンタで印字したものとする。

## 1）志 望 理 由

本専攻を選択するに至った理由を１，０００字程度で述べること。

**志 望 理 由**

裏へつづく

前のページの「志望理由」と両面印刷してください。

（オートモーティブサイエンス専攻　社会人特別選抜）

## 志望理由

次のページの「研究計画」と両面印刷してください。

（オートモーティブサイエンス専攻　社会人特別選抜）

## 2）研究計画

| 氏　名 | |
|---|---|

本専攻で，何を，どのように研究しようと考えているのか，そのために必要な専門知識をどのように修得するのか等の計画を１，０００字程度で具体的に述べること。

研究計画

裏へつづく

前のページの「研究計画」と両面印刷してください。

（オートモーティブサイエンス専攻　社会人特別選抜）

## 研 究 計 画

次のページの「将来の進路計画」と両面印刷してください。

（オートモーティブサイエンス専攻　社会人特別選抜）

## 3）将来の進路計画

| 氏　名 | |
|---|---|

本専攻での修学を活かして将来の進路をどのように考えているのか等を，１，０００字程度で述べること。

**将 来 の 進 路 計 画**

裏へつづく

前のページの「将来の進路計画」と両面印刷してください。

（オートモーティブサイエンス専攻　社会人特別選抜）

# 将来の進路計画

次のページの「これまでの教育研究等」と両面印刷してください。

（オートモーティブサイエンス専攻　社会人特別選抜）

## 4）これまでの教育研究等

| 氏　名 | |
|---|---|

修士等で受けた教育や研究活動，本専攻と関わる教育研究体験や社会体験および取得資格等を１，０００字以内で具体的に述べること。卒業論文や卒業研究などの教育研究成果物等の資料を添付提出することができる。

**これまでの教育研究等**

裏へつづく

前のページの「これまでの教育研究等」と両面印刷してください。

（オートモーティブサイエンス専攻　社会人特別選抜）

## これまでの教育研究等

（オートモーティブサイエンス専攻　社会人特別選抜）

# 照　合　票

| | |
|---|---|
| 志望分野　　分　野 | ※ 受験番号 |
| 最終学歴等<br>大学大学院　　学府・研究科<br>課　程　　専　攻<br>西暦　年　月　修　了<br>修了見込 | 写真貼付欄<br>最近３ヶ月以内に撮影した写真（正面上半身脱帽）を貼ること。<br>(タテ 4cm×ヨコ 3cm) |
| ふりがな<br>氏　名 | |
| 西暦　年　月　日生　男・女 | |

※欄は記入しないこと。

九州大学大学院統合新領域学府

（オートモーティブサイエンス専攻　社会人特別選抜）

（オートモーティブサイエンス専攻　社会人特別選抜）

# 受　験　票

| | |
|---|---|
| **※ 受験番号** | |
| 志 望 分 野 | 分　　野 |
| ふりがな<br>氏　　名 | 西暦　　年　　月　　日生 |

九州大学大学院統合新領域学府

注意

1. **※欄**は記入しないこと。
2. 受験票は，試験中必ず携行すること。
3. 受験票を所持しない者は，試験場に入ることができない。

（オートモーティブサイエンス専攻　社会人特別選抜）

次のページの「研究業績概要調書」と両面印刷してください。

（オートモーティブサイエンス専攻　社会人特別選抜）

# 研 究 業 績 概 要 調 書

| | | | |
|---|---|---|---|
| 志望分野名 | 分　野 | | |
| ふりがな<br>氏　名 | | 生年月日<br>（年齢） | 年　月　日<br>（　才） |
| 現住所<br>（連絡先） | （〒　－　）<br>携帯電話（　）－（　）－（　）<br>電話番号（　）－（　）－（　） | | |
| 現職等<br>所属・職名等 | | | |
| 所在地<br>連絡先 | （〒　－　）<br>電話番号（　）－（　）－（　） | | |

| 学術論文名，著書，学協会，討論会，国際会議等での研究発表題目及び特許・発明等の名称 | 発表論文誌の名称，巻，ページ，発表年（印刷中又は投稿中の場合は，その旨を記入すること。）<br>発表学協会，討論会，国際会議等の名称及び発表年月日 | 著　者<br>（本人含め記載順に記すこと。） |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |

注意

1. 学術論文等は，別刷又はその写しを添付し，研究発表の場合は，要旨又は概要を添付すること。
2. この用紙に書ききれない場合は，同様の形式のものを付加してもよい。

裏へつづく

前のページの「研究業績概要調書」と両面印刷してください。

（オートモーティブサイエンス専攻　社会人特別選抜）

| 学術論文名，著書，学協会，討論会，国際会議等での研究発表題目及び特許・発明等の名称 | 発表論文誌の名称，巻，ページ，発表年（印刷中又は投稿中の場合は，その旨を記入すること。）<br>発表学協会，討論会，国際会議等の名称及び発表年月日 | 著　　者<br>（本人含め記載順に記すこと。） |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

注意

1. 学術論文等は，別刷又はその写しを添付し，研究発表の場合は，要旨又は概要を添付すること。
2. この用紙に書ききれない場合は，同様の形式のものを付加してもよい。

（オートモーティブサイエンス専攻　社会人特別選抜）

<table>
<tr><td rowspan="2">住所票<br><br>本住所票により、合格通知書及び入学手続書類を郵送する。<br>【1】合格通知用<br>【2】入学手続書類用<br><br>送付先の郵便番号・住所・氏名を記入すること</td><td>【1】<br>（〒　　－　　）<br><br>殿</td><td>【2】<br>（〒　　－　　）<br><br>殿</td></tr>
<tr><td>No</td><td>No</td></tr>
</table>

（オートモーティブサイエンス専攻　社会人特別選抜）

（オートモーティブサイエンス専攻　社会人特別選抜）

# 「入学検定料・選考料　取扱明細書」貼付用台紙について

コンビニエンスストアで支払いをした場合は,「入学検定料・選考料　取扱明細書」を下の枠内に貼付して出願書類と共に提出すること。

クレジットカードで支払いをした場合は，プリントアウトした「受付完了画面」を貼付せずに出願書類と共に提出すること。（本紙も氏名・フリガナ・住所等を記入し，出願書類とともに提出すること。）

切り取り不要　本紙は出願書類と共に提出すること。

---

| 「入学検定料・選考料　取扱明細書」貼付用台紙　九州大学大学院統合新領域学府<br>オートモーティブサイエンス専攻 | | |
|---|---|---|
| 受験番号 | ※ | フリガナ<br>氏名 |
| 住所等 | （〒　-　）<br>（TEL　－　－　） | |
| 「入学検定料・選考料　取扱説明書」貼付欄 | | |

※は大学にて記入する

（オートモーティブサイエンス専攻　社会人特別選抜）

（オートモーティブサイエンス専攻　社会人特別選抜）
「出願資格⑻で出願する者のみ提出」

西暦　　年　　月　　日

# 出 願 資 格 認 定 申 請 書
## （社会人特別選抜）

ふりがな
氏　　名

西暦　　年　　月　　日生

貴学大学院統合新領域学府博士後期課程（オートモーティブサイエンス専攻）に出願するにあたり，出願資格の事前審査を受けたいので，関係書類を添えて申請します。

※

| 出 願 資 格 | 専攻長（氏名） |
| --- | --- |
| 有　・　無 | |

○**※欄**は記入しないこと。

（オートモーティブサイエンス専攻　社会人特別選抜）